

平成24年度関東倶楽部対抗長野ブロック予選競技 組合わせおよびスタート時間表

(参加者 26倶楽部 ・ 156名)

期日：5月24日(木)

場所：信濃ゴルフ倶楽部

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	西澤 健司	穂高	藤森 勇一	諏訪湖	原 和明	長野国際		
2	7:39	中畠 隆一	豊科	朝川 正男	立科	丸山 耐一	塩嶺		
3	7:48	有賀 健一	望月	佐藤 和久	上田丸子グランヴィリオ	笠井 裕一	南長野	宮澤 豊秋	千曲高原
4	7:57	清水 久徴	佐久平	伊藤 謙二	松本	掛川 幸男	佐久春日野	窪田 一幸	中央道晴ヶ峰
5	8:06	西澤 啓	大浅間	増田 悌造	信濃	吉沢 稱	川中嶋	水落 昭一	上田菅平高原グランヴィリオ
6	8:15	岸田 輝之	望月東急	宮澤 亮三	長野	藤澤 薫	諏訪レイクヒル	安部 秀信	サニー
7	8:24	小林 宣章	あづみ野	橋倉 壮策	松本浅間	古川 衛	三井の森蓼科	油井 基	八ヶ岳高原
8	8:33	今井 博之	立科	鷹巣 利治	穂高	土田 彰一	長野国際	赤池 良二	千曲高原
9	8:42	高山 源市	南長野	小林 浩一	佐久平	佐々木 正行	佐久春日野	森 登志憲	大浅間
10	8:51	北島 一郎	川中嶋	松本 修	望月東急	中村 隆男	諏訪レイクヒル	岩原 厚史	あづみ野
11	9:00	箱山 勤	三井の森蓼科	呉本 生福	諏訪湖	鎌倉 茂人	豊科	武田 俊二	塩嶺
12	9:09	村田 稔	上田丸子グランヴィリオ	小林 久一	望月	保科 和生	松本	高橋 久美	中央道晴ヶ峰
13	9:18	上野 孝信	信濃	山岸 道夫	上田菅平高原グランヴィリオ	篠原 力	長野	井出 啓男	サニー
14	9:27	田中 秀享	松本浅間	依田 泉	八ヶ岳高原	小原 久仁視	穂高	山本 勝三	豊科
15	9:36	西東 敏明	千曲高原	柳澤 實	望月	加藤 文男	佐久春日野	佐藤 隆男	信濃
16	9:45	寺尾 藤則	サニー	池内 昭則	望月東急	宮澤 守	三井の森蓼科	呉本 公太	諏訪湖
17	9:54	森沢 雄次	立科	渡辺 東季男	上田丸子グランヴィリオ	森泉 哲夫	佐久平	太田 英雄	中央道晴ヶ峰
18	10:03	堀川 正彦	川中嶋	黒岩 護	長野	手塚 浩二	あづみ野	林 濃	八ヶ岳高原
19	10:12	池内 静雄	長野国際	渡部 千秋	塩嶺	湯澤 昭二	南長野	百瀬 記行	松本
20	10:21	太田 貢	大浅間	松本 直士	上田菅平高原グランヴィリオ	林 光男	諏訪レイクヒル	藤巻 好實	松本浅間

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
21	7:30	平林 秀夫	穂高	田尻 寿啓	立科	日向 敬治	南長野		
22	7:39	山浦 雅彦	佐久春日野	山田 修一	川中嶋	砂場 雅俊	諏訪レイクヒル		
23	7:48	両角 太一	三井の森蓼科	小林 浩之	諏訪湖	野澤 文治	塩嶺	加藤 進	望月
24	7:57	牛山 龍八	中央道晴ヶ峰	加藤 孝一	上田菅平高原グランヴィリオ	吉越 修	サニー	内藤 久昭	八ヶ岳高原
25	8:06	石川 章司	長野国際	湯原 正也	千曲高原	柳澤 文彦	佐久平	池田 忠明	大浅間
26	8:15	鈴木 光夫	望月東急	原田 英男	あづみ野	国広 正一	豊科	一之瀬 方賛	上田丸子グランヴィリオ
27	8:24	宮下 昌俊	松本	北村 慶一	信濃	松山 隆	長野	向井 知巳	松本浅間
28	8:33	伊藤 啓二	穂高	今井 高行	塩嶺	小山 宏充	佐久平	成田 寿郎	信濃
29	8:42	今岡 靖典	諏訪レイクヒル	井出 勝彦	八ヶ岳高原	名取 輝高	諏訪湖	松本 誠	千曲高原
30	8:51	丸山 謹二郎	松本	渡辺 勝信	川中嶋	春原 正典	サニー	高山 佳幸	長野国際
31	9:00	翠川 雅人	上田丸子グランヴィリオ	窪田 勝彦	佐久春日野	津端 正廣	上田菅平高原グランヴィリオ	川澄 豊	あづみ野
32	9:09	大原 一成	豊科	岡澤 寿穂	南長野	小池 康成	中央道晴ヶ峰	柳沢 義直	望月東急
33	9:18	小野 泰男	松本浅間	手塚 久仁彦	立科	武原 今朝光	望月	佐藤 誠	大浅間
34	9:27	島田 貴規	長野	堀 正隆	三井の森蓼科	水城 雄貴	穂高	中澤 俊一	千曲高原
35	9:36	小林 一浩	佐久春日野	武重 修	望月東急	竹澤 功泰	三井の森蓼科	茅野 弘喜	諏訪湖
36	9:45	木原 健滋	上田丸子グランヴィリオ	藤森 康年	中央道晴ヶ峰	伊藤 雅章	長野	池田 玄順	八ヶ岳高原
37	9:54	加藤 元次	長野国際	村松 良男	南長野	小金澤 稔	大浅間	有賀 修一	諏訪レイクヒル
38	10:03	奥原 伸吾	豊科	東方 良夫	望月	朝場 健至	信濃	小林 一三	サニー
39	10:12	清水 学	立科	田中 孝幸	佐久平	大久保 隆	川中嶋	田上 康彦	あづみ野
40	10:21	宮島 一馬	塩嶺	片瀬 博幸	松本	上野 恵佐夫	上田菅平高原グランヴィリオ	江本 日東	松本浅間

競技委員長 吉野 統治

平成 24 年度 関東倶楽部対抗長野ブロック予選競技

開催日 : 5 月 24 日(木)

開催コース : 信濃ゴルフ倶楽部

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件・ローカルルールを適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定や選手への通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカルルールの違反の罰は、2 打とする。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. 使用球の規格(ゴルフ規則 175 ページ参照)

『公認球リストの条件・規則付 I (c)1b』

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c)1a』(ゴルフ規則 174 ページ参照)

4. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、競技者が金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

5. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

6. ホールとホールの間での練習禁止(規則 7-2 注 2)

『規則付 I(c)5b』(ゴルフ規則 179 ページ参照)

7. プレーの中断と再開

- (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。
- (2) 陰悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組の競技者全員がホールとホールの間にいるときは、各競技者は委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。競技者がすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、その競技者は競技失格とする。この条件の違反の罰は競技失格(規則 6-8b 注)
- (3) プレーの中断と再開の合図について
通常のプレー中断 :
陰悪な気象状況による即時中断 :
プレーの再開 :
} 本部より競技委員を通じて競技者に連絡する。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、競技者が委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『規則付 I(c)2』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を標示する。ただし、次のものを含むスルーザグリーン芝草を短く刈ってある区域(規則 25-2 参照)にある距離計測のための黄色いペイント。ただし、そのペイントがプレーヤーのスタンスの障害となっても、それ自体は規則 25-1 に基づく障害とはみなされない。球がそのペイントの上にあるか、触れている場合、またはそのペイントが意図するスイング区域の障害となる場合のみ、規則 25-1 に基づいて救済を受けることができる。

3. ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

a. 排水溝

b. 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)

5. 17 番ホールパッティンググリーン手前のラテラル・ウォーターハザードは、プレー禁止とする。

注 意 事 項

1. 競技の条件 4 項において規制されるシューズ以外でもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断した競技者の参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 箱 (24 球) を限度とする。

競技委員長 吉野 統治